
アンド
アミイ

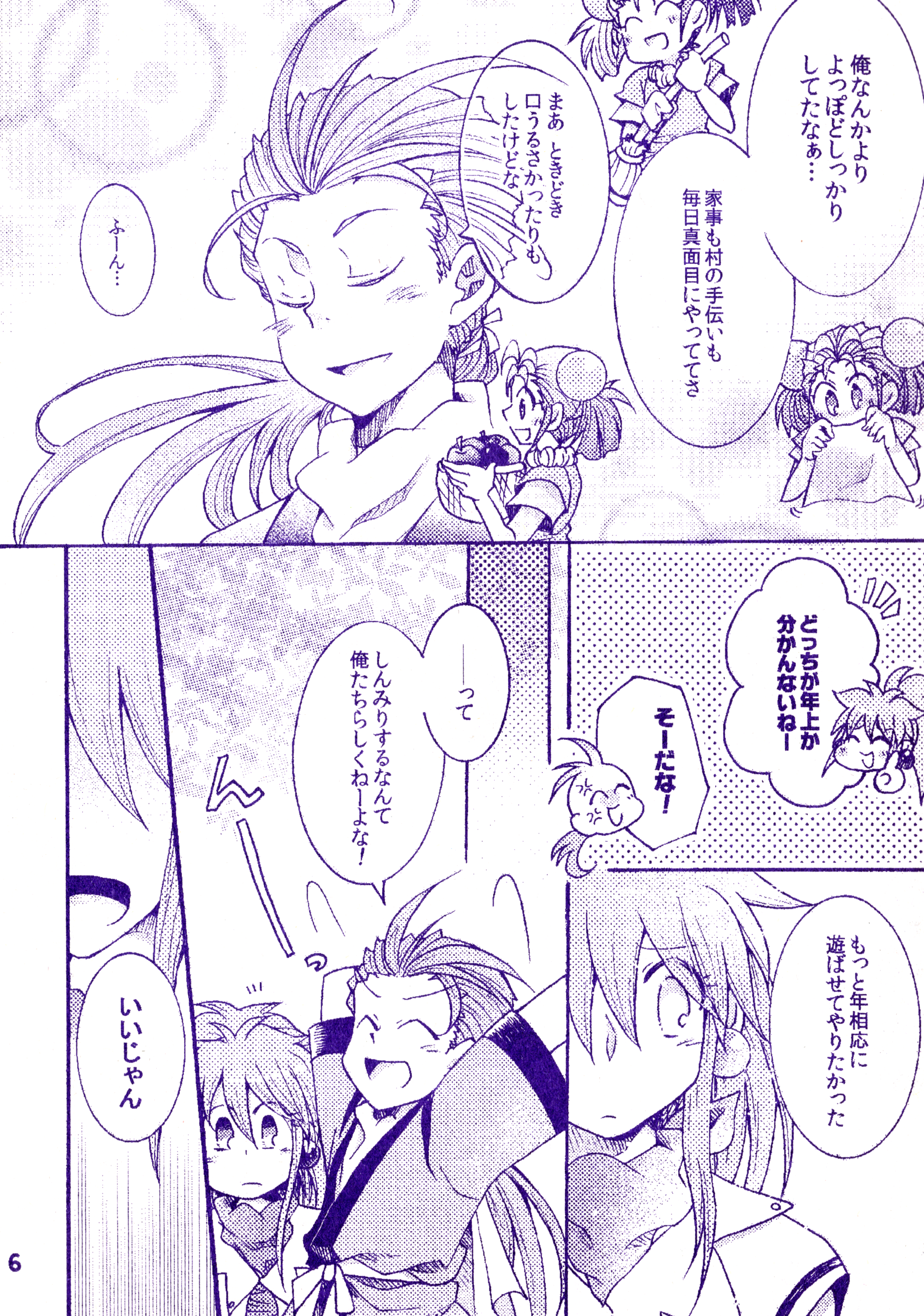
はじめまして、こんにちは！栗缶と申します。
アミィちゃんがあまり出てこないアミィ本ですが
アミィ本と言い張る！チェスターの出演率が半端ないけど！
それでも言い張る！これだけは譲れないd(・∀・)
…そんな本ですが楽しんでいただけたら幸いです。

今回は色んなカップリング描けて楽しかったです。
アミィちゃんはもっと描きたかったかなぁ。
アミィちゃんの事考えるとどうしても、
最後悲しい気持ちがわき上がってしまうので中々…
幸せなお話も描いてあげたいなとは凄く思うのだけれど！(>_<)
小説版ファンダム読んでから満足しちゃった感もあるし。
あれ以上のアミィちゃんの幸せがあるか！？と…。
…はい。またアミィちゃん描けたら描きたいです←

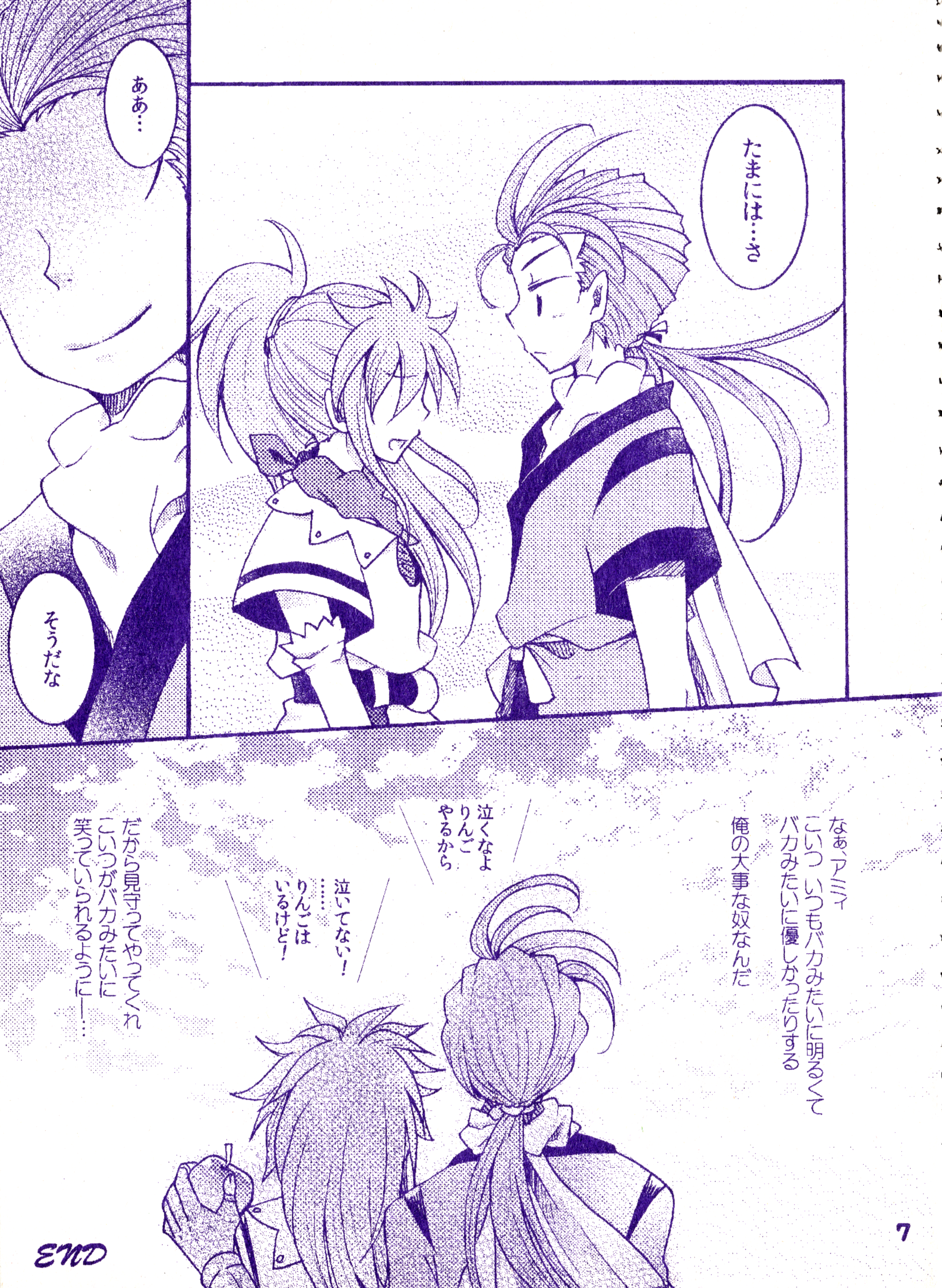
今回はゲスト様にキクさんをお呼びしました！
わーダメ元でお願いして本当に良かった！嬉しい(*^O^*)
お忙しい中素敵な原稿送って下さいましたッ！
ファンダム兄妹やぁあああああッ！！トーティスに来て未だ間もない
幼子バークライト兄妹やあああッ！もうカワイイ！
この1Pだけを数時間眺めてこの本を閉じて下さい←
本当に有り難う御座いました！生原稿は家宝にします(・∀・)

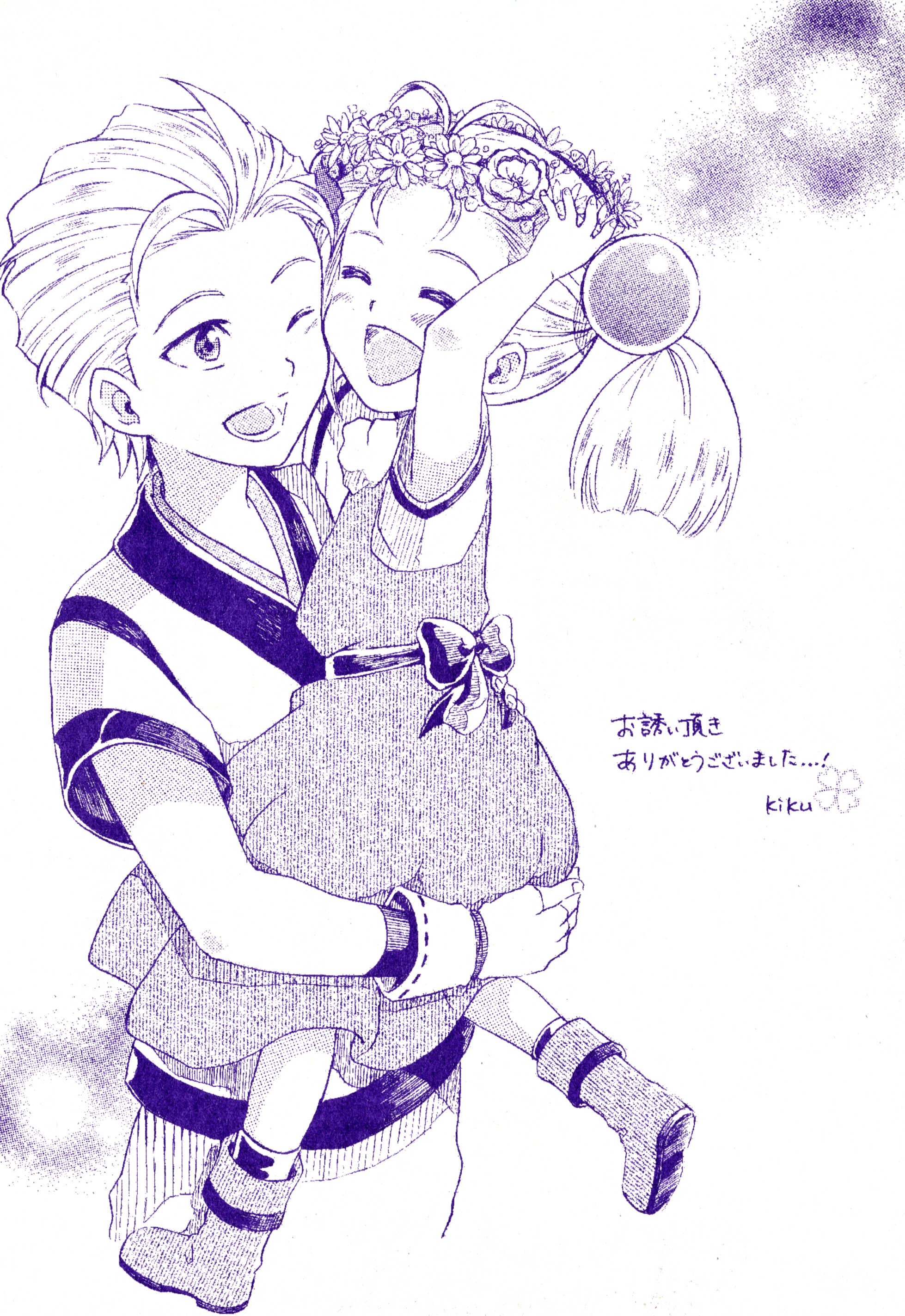
And Amy

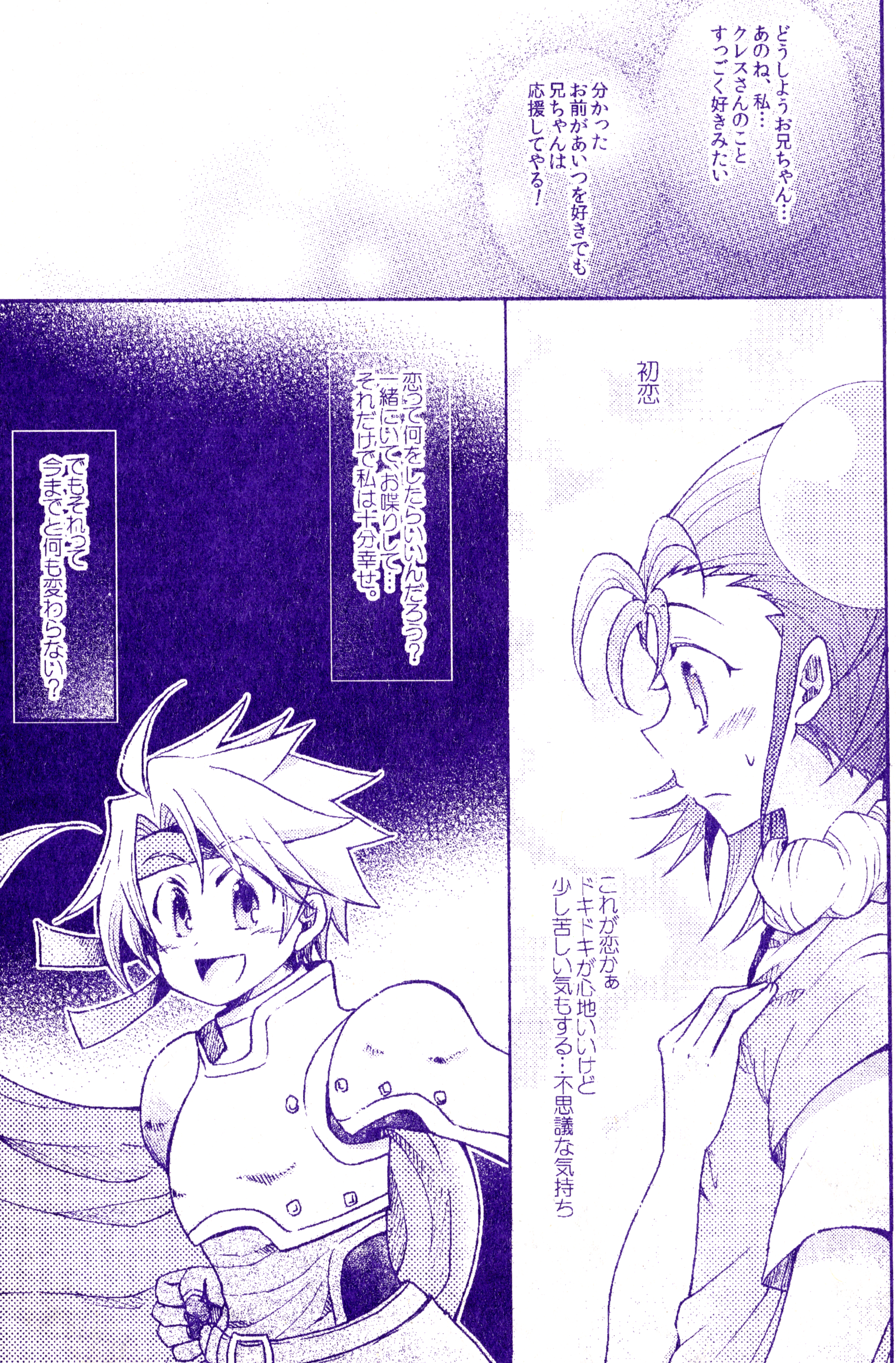

…
ひょこっ
アミィ…
ねえ!
…
ばぁ
いきなり何だよ!? 人がしんみりしてる時に…
アミィちゃんってどんな子だったの?
人の話を聞いてんのか?
まあー



俺なんかより よっぽどしっかり してたなぁ…
家事も村の手伝いも 毎日真面目にやっててさ
まあ ときどき 口うるさかったりも したけどな
ふーん…
どっちが年上か 分かんないねー
そーだな！
もっと年相応に 遊ばせてやりたかった
──って しんみりするなんて 俺たちらしくねーよな！
んーっ
いいじゃん


たまには…さ
ああ…
そうだな
なぁ、アミィ
こいつ いつもバカみたいに明るくて
バカみたいに優しかったりする
俺の大事な奴なんだ
泣くなよ
りんご
やるから
泣いてない！
……
りんごは
いるけど！
だから見守ってやってくれ
こいつがバカみたいに
笑っていられるように－…
END

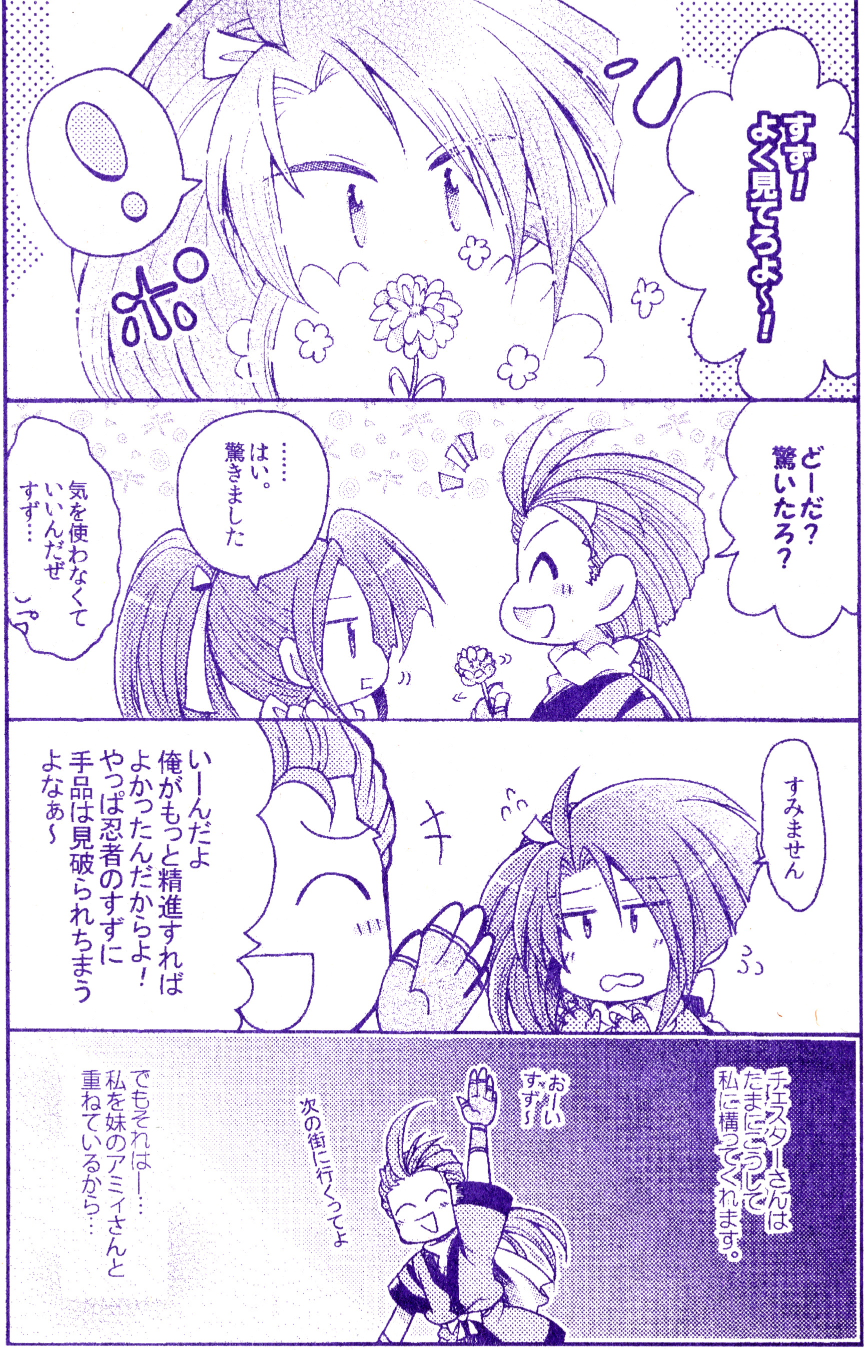

お誘い頂き
ありがとうございました…!
kiku



どうしようお兄ちゃん…
あのね、私…
クレスさんのこと
すっごく好きみたい
分かった
お前があいつを好きでも
兄ちゃんは
応援してやる！
初恋
これが恋かぁ
ドキドキが心地いいけど
少し苦しい気もする…不思議な気持ち
恋って何をしたらいいんだろう？
一緒にいて、お喋りして…
それだけで私は十分幸せ。
でもそれって
今までと何も変わらない？

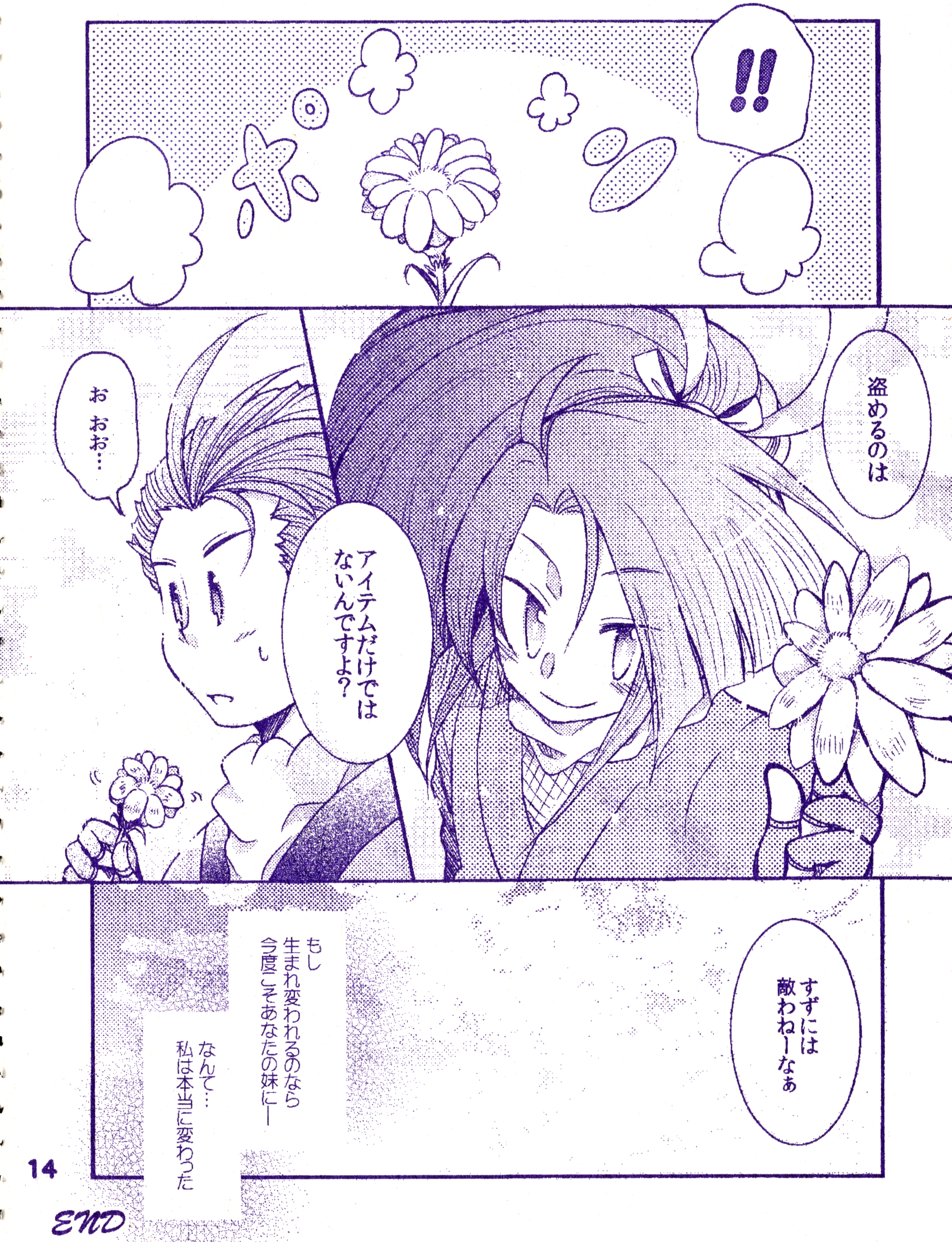

お兄ちゃんに相談しても
好きって伝えないのか？ よし！ 俺が言ってきてやるよ！
やめてえええッ
きゃあああ
だもんなぁ… 私もだけど、お兄ちゃんは こう言うことに疎い。 っていうかデリカシーがない。
アミィが出来ることを してやれば良いんじゃないか？ 焦る必要もねーだろ
でも真面目に悩みも 聞いてくれたりもする。
私の出来ること…料理？は 結構作ってるもんなぁ…
裁縫？
うん！形に残る物を あげたいなーって思って
なるほど！
自分の人形作って 「これ私だと思って 夜抱いて寝てね☆」 ってことだな！
キャーッ
…すみません

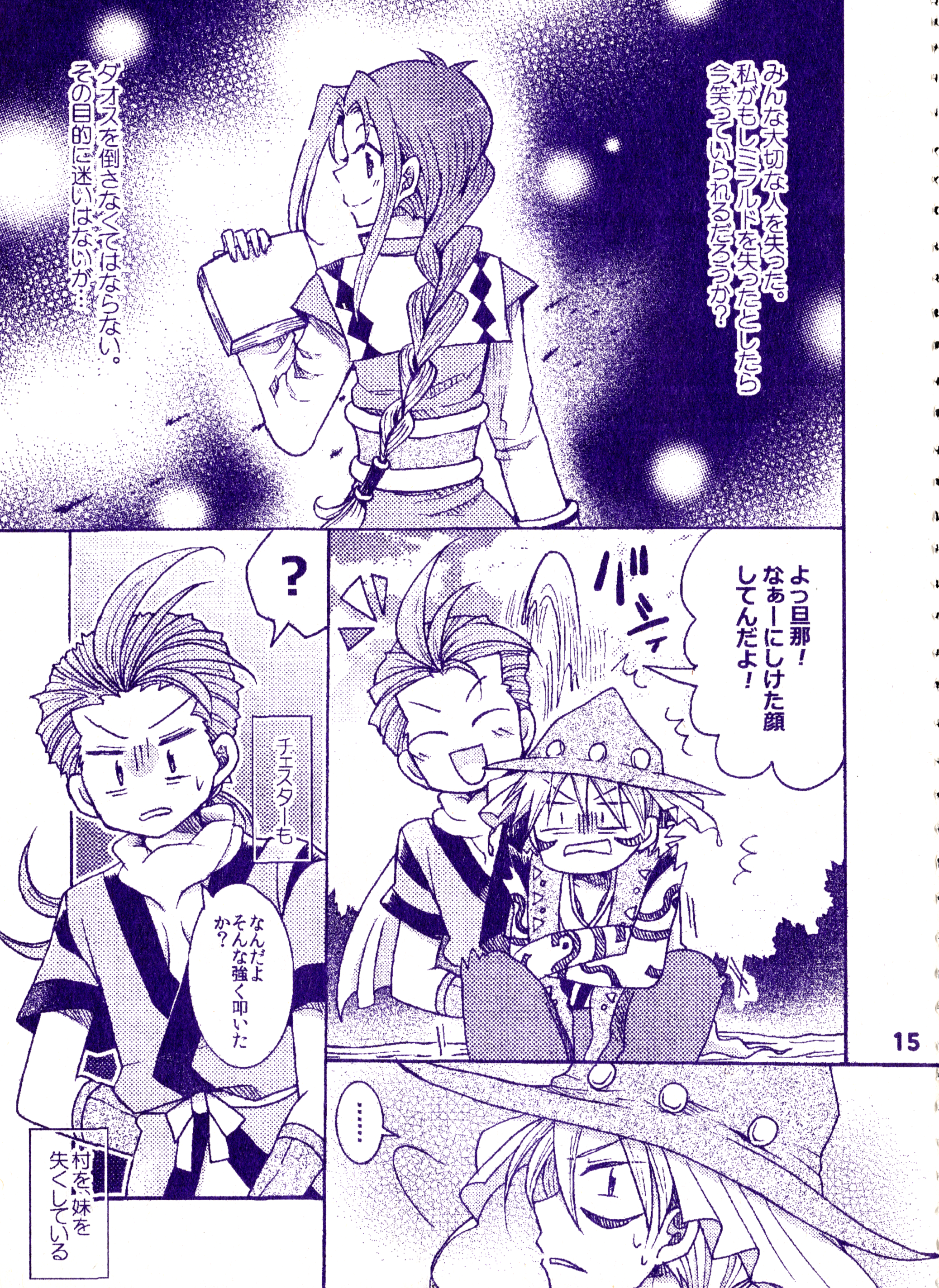

もー!!
お兄ちゃんは出てって!
じょーだんだよぉー
もぉ~私の人形なんて…
な、何考えてるのよ!!
お兄ちゃんのバカバカバカ!
出来た!
クレスさん人形
……
どうかこれからの
クレスさんの人生が
幸せなものでありますようにー
そして願わくば
その幸せの中に
私が居られることをー…
END


すず！よく見てろよ～！
ぽ
どーだ？驚いたろ？
……はい。驚きました
気を使わなくていいんだぜすず…
すみません
いーんだよ 俺がもっと精進すればよかったんだからよ！やっぱ忍者のすずに手品は見破られちまうよなぁ～
チェスターさんはたまにこうして私に構ってくれます。
おーいすず～
次の街に行くってよ
でもそれはー…私を妹のアミィさんと重ねているから…



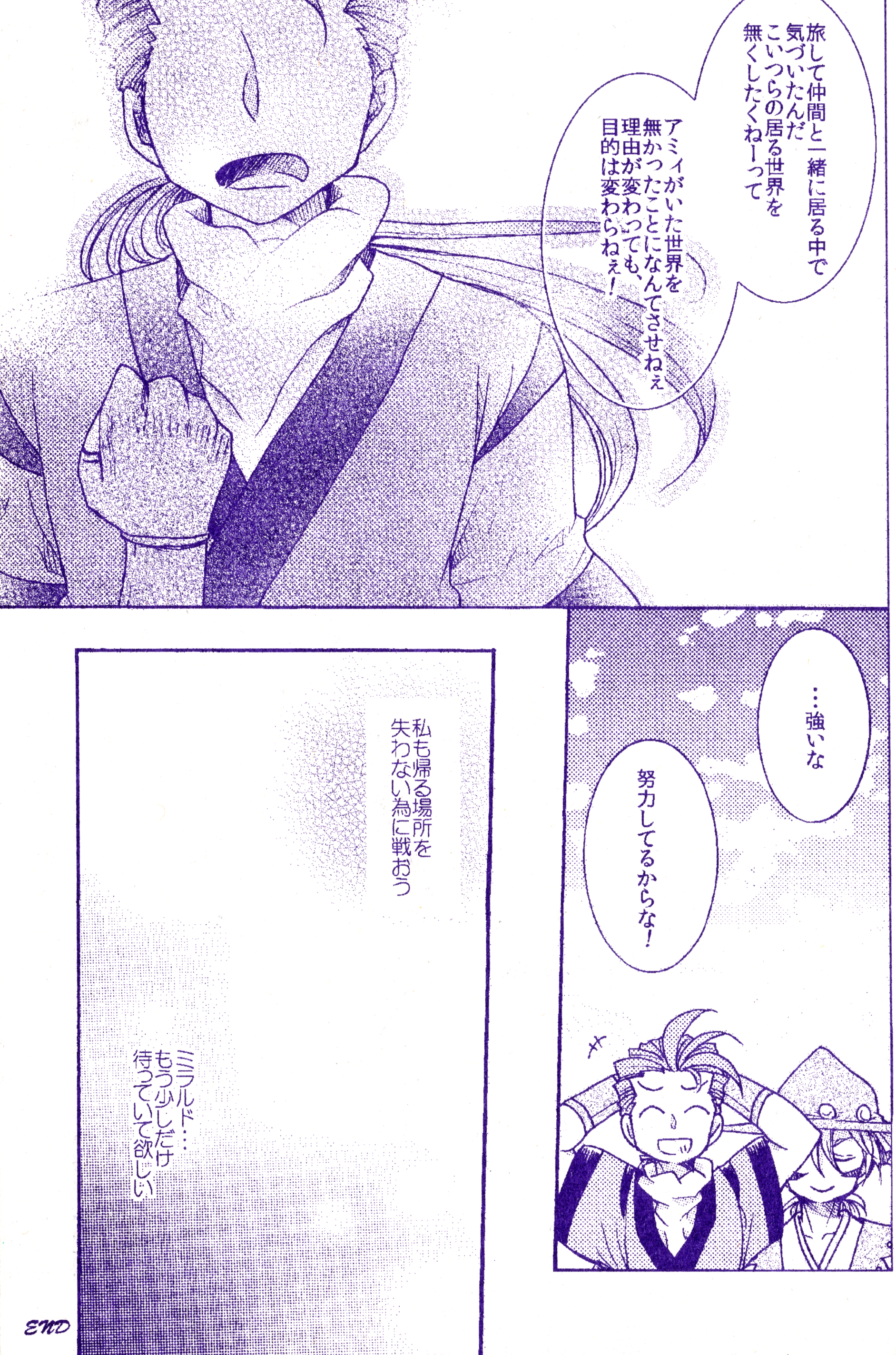
それが少し寂しい…
そう思うようになるなんて…
私はだいぶ変わった。
自分を妹と思ってくれても構わないと思うくらいに。
すずが妹かぁ
そりゃいいな!
自慢の妹だぜ☆
…ありがとな!
やっぱりすずは大人だなぁ~
もっと子供らしく我がまま言ってくれていいんだぜ?
自分の幸せの為に生きろよな!
—っ
チェスターさんにだけは言われたくないです。
…? すず?
どうかしたのか?
すず! 具合でも—
!?
ぐっ

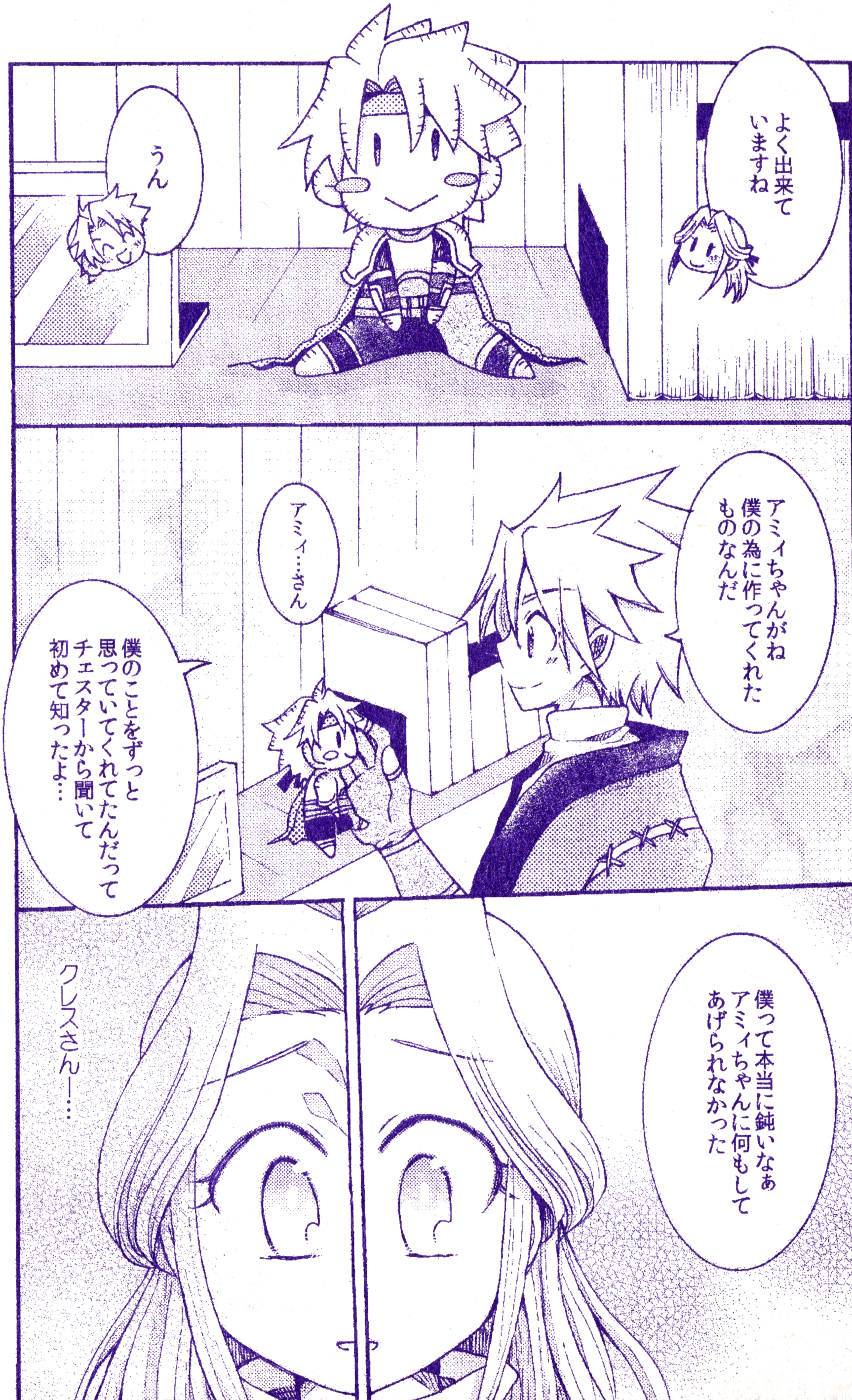

!!
盗めるのは
アイテムだけではないんですよ？
おおお…
すずには敵わねーなぁ
もし
生まれ変われるのなら
今度こそあなたの妹に—
なんて…
私は本当に変わった
END

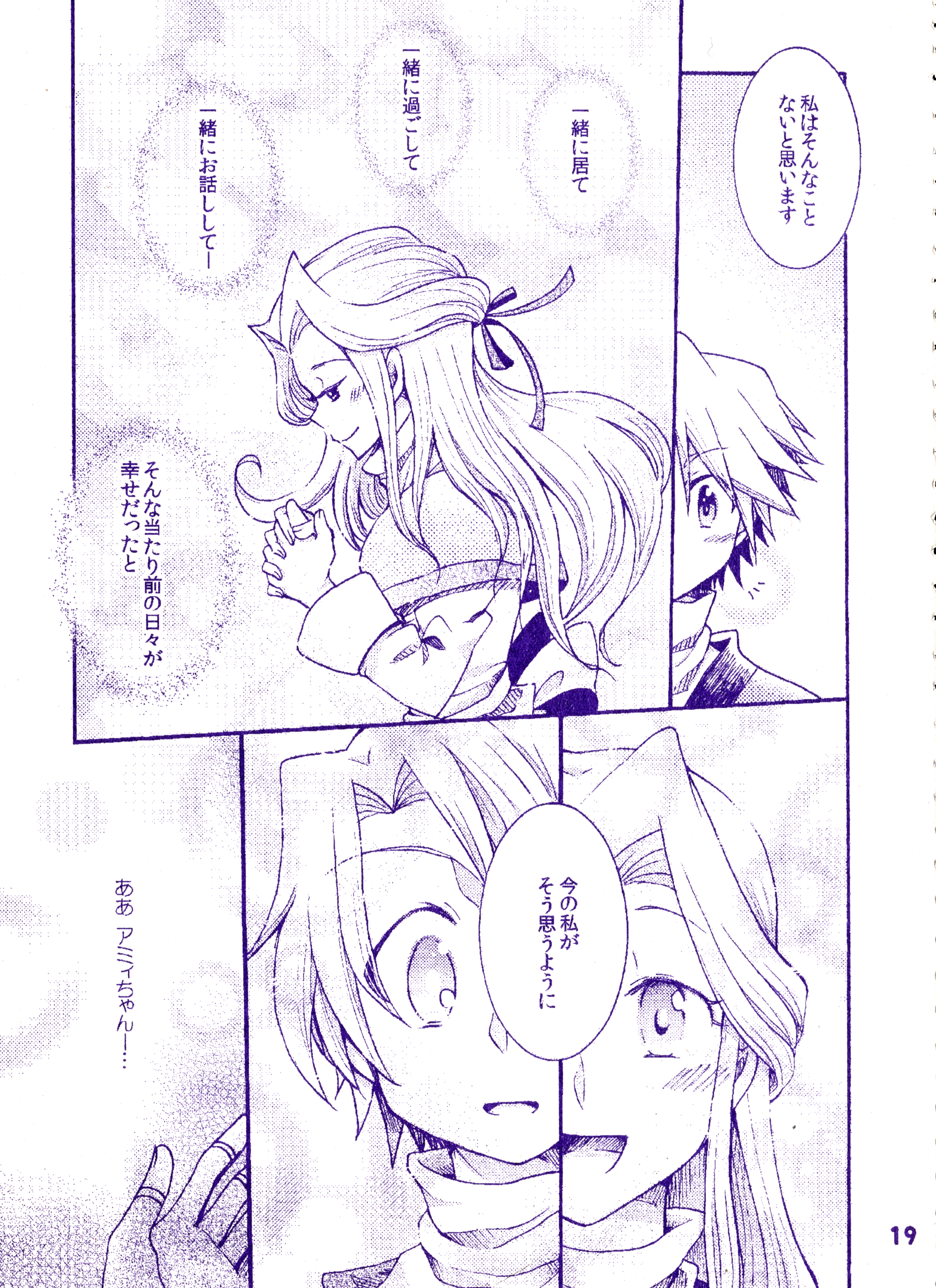


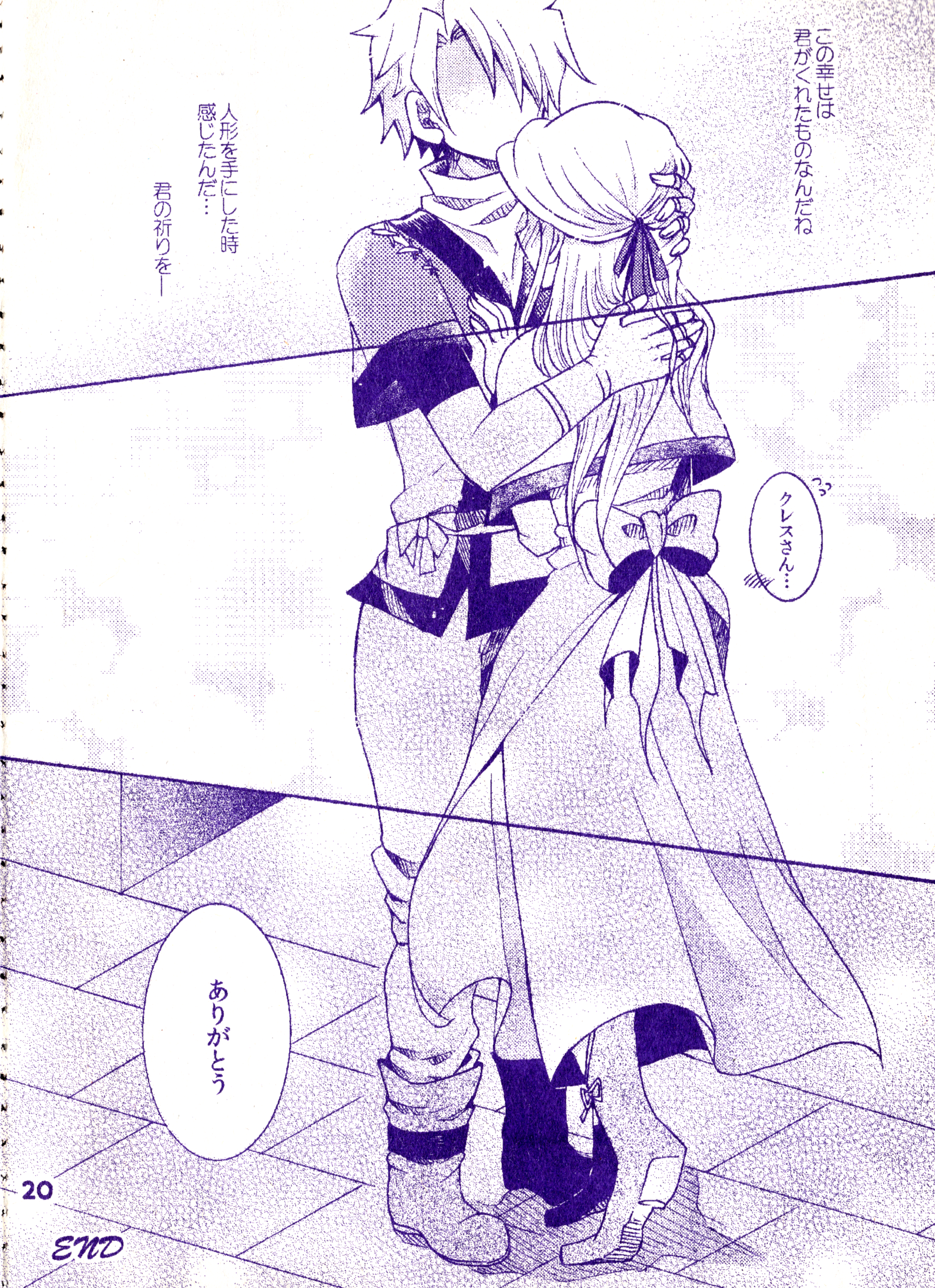
みんな大切な人を失った。
私がもしレミラルドを失ったとしたら
今笑っていられるだろうか？
ダオスを倒さなくてはならない。
その目的に迷いはないが…
よっ旦那！
なぁーにしけた顔
してんだよ！
バシィ
？
チェスターも
なんだよ
そんな強く叩いたか？
村を、妹を
失くしている
……


どうしたんだよ ぼーっとしちまって 旦那らしくないぜ？
まさか ダオスを倒す 目的を見失ったとか 言い出すんじゃねーよな？
！
いや… 目的は変わらんさ
あいつ過去でふざけた事言ってたらしいじゃねーか…「俺達と戦う理由がない」とか こっちは大有りだっつーのによ！
俺は正直世界がどーとか どうでもよかった ただ村を、アミィを奪った原因の あいつをぶっ飛ばせれば それでいいって…
…
でも今は それだけじゃ なくなった


旅して仲間と一緒に居る中で
気づいたんだ
こいつらの居る世界を
無くしたくねーって
アミィがいた世界を
無かったことになんてさせねぇ
理由が変わっても、
目的は変わらねぇ！
…強いな
努力してるからな！
私も帰る場所を
失わない為に戦おう
ミラルド…
もう少しだけ
待っていて欲しい
END


よく出来ていますね
うん
アミィちゃんがね僕の為に作ってくれたものなんだ
アミィ…さん
僕のことをずっと思っていてくれてたんだってチェスターから聞いて初めて知ったよ…
僕って本当に鈍いなぁアミィちゃんに何もしてあげられなかった
クレスさん…


私はそんなこと
ないと思います
一緒に居て
一緒に過ごして
一緒にお話しして―
そんな当たり前の日々が
幸せだったと
今の私が
そう思うように
ああ アミィちゃん―…


この幸せは
君がくれたものなんだね
人形を手にした時
感じたんだ…
君の祈りを—
クレスさん…
ありがとう
END

# And Amy

2017.05.04
Tales of Phantasia
Fan Book

Presented by
Kurimeigetsu/Kurikan
Printed by
レトロ印刷JAM

Twitter * kurikan_top
Pixiv * 1506749
ha-yami@excite.co.jp
http://xxxhayamisan.web.fc2.com/

